

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



# 茅小だより 12月号

令和3年11月30日(火)

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校  
校長 吉野 利彦

## 全国学力・学習状況調査 の結果をお知らせします

校庭から見える富士山の美しい雪景色に冬の訪れを感じる今日この頃、保護者や地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

学校では、10月下旬から11月にかけて、教職員間で授業を公開し合い、協議会を開催しながら、子どもたちの学びの質を高めるための授業研究に重点的に取り組んでいるところです。

さて、5月27日(木)に6年生が実施した「令和3年度 全国学力・学習状況調査」の本校の結果を分析いたしましたので、概要をご報告させていただきます。

### 1 教科に関する調査における本校児童の傾向

#### (1) 国語

- ・全設問に対する平均正答率は、全国の平均正答率よりやや低い結果となりました。
- ・個別の設問では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の問題や、「文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する」問題の正答率が高かったです。
- ・一方、「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて、必要な情報を見付ける」問題や、「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する」問題の正答率が低かったです。

#### (2) 算数

- ・全設問に対する平均正答率は、全国の平均正答率よりやや高い結果となりました。
- ・個別の設問では、「棒グラフから、項目間の関係を読み取る」問題や、「道のりと時間の関係について考察する」問題の正答率が高かったです。
- ・一方、「複数の図形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを記述する」問題や、「基準量を1としたときに、比較する量が、示された小数に当たる理由を記述する」問題(30mを1としたとき、12mが0.4に当たる理由を記述する)の正答率が低かったです。

## 2 教科に関する調査から見えてきた課題の改善に向けて

### (1) 国語

学習指導要領の領域では、「読むこと」に関する設問の正答率が最も低かったことから、読書活動の推進を図るとともに、「思考力・判断力・表現力等」を高める授業づくりについて、さらに研究を深めていく必要があると考えています。

### (2) 算数

学習指導要領の領域では、「図形」に関する設問、問題形式では、「記述式」の設問の正答率が低かったことから、習得した知識を活用しながら、自分の考え方を、言葉や式を使って書いたり説明したりする活動を重視した授業づくりを進めていく必要があると考えています。

## 3 児童質問紙調査における本校児童の傾向

○：肯定的な回答の割合が80%以上のもの

△：肯定的な回答の割合が50%以上80%未満のもの

▲：肯定的な回答の割合が50%未満のもの

### (1) 家庭生活の状況や地域に関すること

○朝食を毎日食べている。

△毎日、同じくらいの時刻に寝ている。

○毎日、同じくらいの時刻に起きている。

△学校の授業時間以外に、平日、1時間以上勉強している。

▲学校の授業時間以外に、平日、30分以上読書をしている。

△新型コロナウイルスの感染拡大で学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていた。

△新型コロナウイルスの感染拡大で学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができていた。

▲地域の行事に参加している。(※コロナ禍で参加できなかった実態があります。)

△地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることがある。

### (2) 学校生活に関すること

○学校に行くのが楽しい。

○自分で決めたことは、やり遂げるようにしている。

△難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。

○人が困っているときは、進んで助けている。

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。

○友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができています。

### (3) 教科に関すること

- △学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
- △国語の勉強が好きである。
- 国語の勉強は大切だと思う。
- △国語の授業の内容はよく分かる。
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- △国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えを持ったり、自分の考えを広げたりしている。
- △算数の勉強が好きである。
- 算数の勉強は大切だと思う。
- 算数の授業の内容はよく分かる。
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- 算数の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。
- △英語の勉強が好きである。
- △5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていた。

### (4) 自己肯定感・規範意識・将来に関すること

- 自分には、よいところがあると思っている。
- △携帯電話やスマートフォン等の使い方について、家の人と約束したことを守っている。(※平日に、2時間以上ゲームをしている児童が半数近くいます。)
- △将来の夢や目標を持っている。
- 人の役に立つ人間になりたいと思っている。

以上

本調査により測定できるのは、あくまでも学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことから、本校の取組の成果や課題の全てを映し出しているものではありません。しかしながら、本調査結果により、これまでの教育活動の成果とともに、様々な課題も浮き彫りになってまいりました。

今後も、本校の教育活動を全教職員で丁寧に検証し、一人一人の子どもたちの学習改善や望ましい生活習慣の確立につなげていかれるよう努めてまいりますので、保護者や地域の皆様方のご理解・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。